

環境デザイン学専攻	研究分野	都市計画・デザイン	Lab. ID ED08
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
<p>地域固有の歴史・文化・生活資産を生かした地域づくりの手法について研究を進めています。実際のフィールドにおける地域との協働の下での地域資産の活用実践を通じて、地域づくりの主体形成、そのための仕組みやプログラム設計の手法について研究を進めています。またそのような地域主体のまちづくりを支援する公的な支援制度の運用実績の事後評価を行い、それらの支援制度の有効性と課題について明らかにし、その改善方策などについて提言を行っています。具体的な資産としては、歴史的建造物や集落・町並み、景観などの資産を対象としています。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>研究室での活動の中心となるのはゼミと調査です。ゼミには院生が中心となって企画・運営する学習ゼミと、研究内容について討議するグループゼミがあり、それぞれ週に1回ずつ開催します。研究はそれぞれにフィールドを設定し、そこでの調査を通じてテーマの発見、データの収集等を行っています。フィールド調査は研究テーマの枠を超えて、ゼミ生が相互に協力し合いながら実施します。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>研究室生活の中心は、フィールド調査です。フィールド調査は地域のまちづくり関連主体との関係を構築しながら進めていきます。研究室では調査データの整理、分析や関連する文献・資料の学習など、デスクワークが中心となります。ゼミ生には専用のPCが用意されています。また共同で利用できる大型スキャナーや大型プリンターもあり、地域でのワークショップ運営や研究成果の発表に用いる大判資料の製作環境も整っています。また、本人が希望すれば、教員がまちづくりに関わっているフィールド等における実際のまちづくり活動などへの参加も可能です。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>将来、計画系のコンサルタントや公務員、NPOスタッフ、建築家などとして、まちづくりに関わりたいと考えている人におすすめの研究室です。フィールドにおける実践、地域との交流の経験を通じて、多様な関連主体と共に考え、行動し、地域固有の資産を生かすことができる人材を輩出することを目標にしています。専門的な知識や技法やもちろん、それぞれのキャリアを支える原体験と行動力を獲得してもらえるように、多彩なフィールドにおける調査・研究展開の場を提供することを心がけています。</p>			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2017.3	まちびらきイベントの開催地域における住宅の地域的特性の継承と形成に関する研究-富山市八尾地区における事例研究-		
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
研究室連絡先メールアドレス	小林史彦 <kbyshf@staff.kanazawa-u.ac.jp>		